

IV 技術委員会の事業活動

1. 事業概要

技術委員会は、会員企業の技術者および技能者のレベル向上を事業の柱とし、三つのテーマに取り組む。

- (1) 品質・安全・環境・コスト等に関する技術の提供
- (2) ばねづくり技能の習得・向上および伝承
- (3) ばね設計技術の向上

2. 事業の詳細

- (1) 品質・安全・環境・コスト等に関する技術の提供
 - ① 講習会および見学会の開催（支部毎にニーズを反映して実施する。）
 - ② ばねの技術相談制度の充実
 - ③ 技術資料の機関誌ばねおよびホームページへの掲載
 - ④ 日本ばね学会と連携した調査・研究の推進と会員への技術情報提供
・技術交流会の実施
情報・意見の交換を行ない、活動の連携、意思疎通を図る。
・平成29年度の委託研究テーマは以下のとおり。
継続テーマ……「圧縮コイルばねの温間へたりに関する研究」
（平成29年6月報告会、平成30年度ばね論文集掲載）
新テーマ……「ばねのフラクトグラフィに関するデータの収集（仮）」
（平成30年度の日本ばね学会での委員会設置に向けての準備調査）
・「ものづくりセミナー」共催
・「若手技術者交流会」支援
・日本ばね学会講習会活動の支援および連携
- (2) ばね造り技能の習得・向上および伝承
金属ばね製造技能士の資格取得を支援する。
 - ① 各支部にて講習会開催（目標 支部毎 2回以上）
 - ② 優良ばね製造技能者（複数の技能士資格保有者）認定者数の向上
会員会社への表彰制度周知と、技能者の資格取得の意欲向上を狙った広報活動など。
目標 日本ばね工業会全体 プラチナ賞 6名以上、金賞 15名以上、銀賞 30名以上
 - ③ ばねハンドブック改訂版の活用と普及促進
平成28年度に改訂（平成29年4月発行）したハンドブックを講習会等で活用し、普及を促進する。
- (3) ばね設計技術の向上
設計技術講習会を開催する。
 - ① 基礎知識習得推進（ばね技術初級講座 等 支部技術委員会にて開催）
 - ② 設計技術向上（ばね技術中級講座 等 支部技術委員会にて開催）
 - ③ 周辺技術向上（熱処理、表面処理、品質、原価関連 等 支部技術委員会にて開催）